

【 深海フラグメント # 1.5 『夕』 フロウ・サテライト 】

宇宙空間を漂う居住ユニットの内部、暗い部屋の中。

SE… (back) 探査用リーダー等の装置、計器類の動作音。
(fore) カチャカチャと通信ツールをいじくる音。

7月24日。

こんばんは。交喙（イスカ）です。元気にしていますか？

こちらは昨日からの塵がひどくて、ほとんど外は見えません。

もう少し綺麗な青色が見られるかと思ったのに、残念です。

おまけにエネルギーの消費を防ぐために、消灯指示が出ているものだから、部屋も真っ暗です。

雪加（セツカ）のところはどうですか？

相変わらず、空は紅いですか？

もしかしたら、僕たちの交信も、もうあと少ししか続けられないかもしれませんね。

SE… 引出しから、小さなプラスチックケースを取り出す。

中で石が揺れ、カタリと音を立てる。

そういえば、今朝ポッドのなかで奇妙なものを見つけました。

つるつるした灰色の塊で、あちこちの割れ目からレモン色の石がのぞいていて、透明なプラスチックのケース

に収められています。

三日月型に見えないことも無いので、僕は『三日月の欠片』と呼ぶことにしました。三日月の欠片が三日月型である必要は必ずしも無いけれど、たぶん君も賛成してくれると思います。微かに光るレモン色を見てみると、君と過ごした暑い夏を思い出して、とても懐かしい気持ちになります。これはホームシックといえるのかな。

どうしても雪加の標本箱に収めたかったので、この三日月の欠片は君のところを送ります。組成が壊れてしまうといけないので、転送ではなくケーブルを通す事にします。届くのはいつごろになるかな。1ヵ月後？ それとも半年かかってしまうだろうか？

SE: ユニットが揺れる音。部屋の体感としては地震。

今、僕の居るユニットが揺れました。

君の居る星からのヒーティングフレアは日に日に強くなっているみたいです。

君は今、シエルターの中でそれを感じているのでしょうか？

僕は怖い。

君の居る星がゆつくりと冷えた時に、大地から遠くケーブルでつながれた僕のユニットは、誰も回収してくれないんじゃないかという不安なんだ。

だけど君は、君も地下で、不安に飲み込まれながら待っている。

地上に上げられる日を、幾日も、幾夜も。

僕は雪加に、雪加は僕にメッセージを送り、レスポンスを返す。その間は大丈夫。だから、僕は安心して眠る事にします。

次の通信が来る時まで。
おやすみなさい、雪加。

【終】

【フラグメント # ex 2 Re : Flow-Satellite】

地中都市を走るトラムの中。(くぐもった地下鉄のような感じでよいかと)
人はまばら。

7月25日。

こんばんは。雪加(セツカ)です。

昨日は、通信をありがとう。

『三日月の欠片』、ちゃんと届きました。

レモン色の縁のところに、わずかにエメラルドグリーンの構造物が混ざっていますが、これは元からなのかな。
まだもう少し手元で眺めていたいから、標本箱にはしまっていないです。

交喙(イスカ)からの通信が届いたとき、一瞬の間にたくさんのことを思い出しました。

君と過ごした、あの夏。

西の海岸で洞窟探検をしたり、

学校中の至るところに、秘密の暗号を書いたカードを隠したり。

二人きりのプールで何度も競泳をしては、僕が負けてばかりでした。

そうそう、イスカはお気に入りの麦わら帽子をカモメに盗られて、怒ってそいつにずっと石を投げていて。
それで、君は鳥が苦手になったんだよね。

目眩がするほど、色豊かで、すべてのものが水気を帯びた、鮮烈な夏。

SE… ترامが駅に着く。プラットフォームに降りたセツカを残し、また走り去る。

あの夏は、ほんとうに暑かったけれど。

今、僕が暮らすこの世界は、もうずっと、あの夏を繰り返しているように、灼けています。

SE… 乾燥した熱い風が、弱弱しく吹いている。

地下に暮らす僕からは、地上も、その上の空も何も見えません。

いつしか誰も天を見上げることもしなくなり、

学生を卒業した僕は、熱く乾いた世間の中で、窮屈に暮らしています。

今でこそ電気や水道のインフラも整いましたが、

発電能力を持たなかったあの頃の地下社会は、生き延びるために、少しでもエネルギー確保の方法があれば、それに縋りました。

— 僕たちの国は、あの日、君のいるユニットへの送電を、中断して、

— ただ、待ちました。

無音。

おととい、ユニットの回収のために一時的に送電が再開されたので、溜まっていた君からの通信が、僕に届いたのでしよう。

日付は7月24日。

7年前の、昨日。

幼かった君の想い、不安も、怖れも、懐かしさも、希望も、今の僕にはもう、昨日のことのように分けあう事は、できません。

君が安心して眠れるように、僕は君に最後のレスポンスを返す。
だから、どうか安らかに。
おやすみなさい、イスカ。

【終】